

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

2017
総選挙

「森友・加計疑惑」の真相究明 北朝鮮問題の対話による解決 9条改憲反対

選挙に行つて政治の 暴走を止めよう！

安倍首相と与党の自民・公明両党は、9月28日に召集された臨時国会の冒頭で衆議院の解散を強行しました。総選挙は、10月10日公示、22日投票の日程で行われます。先の通常国会は、夜を徹した与野党の攻防の末、早朝の参院本会議で「共謀罪」が成立するという、異常極まる中で6月18日に閉会しました。野党4党は6月22日に、憲法53条にもとづいて臨時国会の召集を政府に求めましたが、その正当な要求を3カ月以上も棚上げし、まともな審議もせずいきなり解散するなど、戦後の歴史の中では例がありません。

「森友」「加計」の疑惑隠し

野党が臨時国会の開催を要求したのは、「森友学園」への国有地格安払い下げの疑惑や、「加計学園」の獣医学部開設をめぐる疑惑が全く解明されないうまま、通常国会が閉会したためです。二つの国政私物化疑惑について「解明が尽くされていない」という国民は世論調査で7〜8割を占め、7月の東京都議選で自民党は歴史的な惨敗を喫しました。この結果を受けて首相は、「反省」とか丁寧な説明などを

述べ、8月3日に改造内閣が正式に発足した際には、衆議院の解散・総選挙については、全く白紙だと記者会見で強調していました。こうした発言を全て覆し、何の審議も無しに解散に踏み切ったことは、問題の追及を恐れた疑惑隠しという他ありません。また、首相が解散のタイミングをこの時期にしたのは、世論調査で内閣支持率が若干持ち直したことや、野党の選挙体制が出来上がっていないことを見越したためとも言われています。国権の最高機関である国会議員の選挙を、与党に有利だからという理由で行つたなど、それこそ国政の私物化です。

核・ミサイル問題をどう解決するか

安倍首相は、北朝鮮の核・ミサイル問題への対応について総選挙で「国民に問いたい」として、国際社会とともに圧力を強化していく「対話のための対話には意味はない」と述べました。しかし、9月19日から始まった国連総会の一般討論では事務総長や各国首脳から緊張が続く朝鮮半島情勢に強い懸念と、外交的・平和的解決を求める声が相次ぎました。

対話による解決を否定する安倍首相の発想は、目の前の危機を真剣にとらえようとせず、「軍事力で脅せば何とかなる」という希望的観測にすぎません。いったん武力衝突が発生すれば、多くの犠牲者が出るという破滅的な事態は避けられません。国民の命を守る

ためにどの道を選ぶのか、鋭く問われる選挙になります。

消費税を教育・子育てに？！

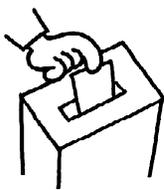
暮らしと経済の問題について首相は、2度も延期を余儀なくされた消費税10%への引き上げによる「財源」の使い道を変更し、その一部を教育・子育てに回すなどと言いました。国民の消費が冷え込み、働く者の実質賃金が上がらない状況が続く大きな原因の一つは、2014年4月に安倍政権が強行した消費税の8%増税があります。教育への公的支出が世界の最低水準であるという現状を解消するために、国民生活を悪化させている消費税を当て込むなど、断じて許せません。

また、安倍首相が憲法9条に自衛隊を書き込む」と表明した是非も問われます。選挙の結果次第では改憲に向けた動きが一気に具体化される危険もあります。

憲法・民主主義を守る共同を

昨年7月に行われた参議院選挙では、憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を貫く新しい政治をつくるという一致点で、野党4党と市民が政治的立場を超え、全国規模で初めて力を合わせました。選挙を通じて市民と野党の共闘が前進したことは、日本の未来に展望をひらくものだったと言えます。

大障教は、憲法9条を守り生かし、立憲主義を取り戻す政治の実現を求める立場から、積極的な参政権の行使を教職員の方々に呼びかけます。



書記局の つくりかた

9月26日、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合(市民連合)は、民進党・日本共産党・自由党・社民党の野党4党に対して、総選挙における野党のたたかい方と政策に関する要望書を提出しました。要望書は、臨時国会冒頭解散を強く批判したうえで、4野党が小選挙区で候補者を調整して、与野党1対1の構図をつくり、国民に憲政と民主主義を擁護する選択肢を提供する責任があると強調しています。政策としては、憲法9条改定への反対や、安保法制・共謀罪法の廃止、福島原発事故の検証のないままの再稼働を認めないこと、保育・教育・雇用に関する政策の飛躍的拡充など7項目が提示されました。

4野党への要請後、記者会見を行った山口次郎法政大学教授は、この要望書に対する民進党の対応について、要望された政策の実現、総選挙での与野党1対1の構図に向けてできることを全力でやりたいなどの回答があったと説明しました。

しかし、このわずか2日後、民進党は両院議員総会で、前原代表が提案した新党「希望の党」への合流方針を満場一致で承認しました。「希望の党」は、安保法制を容認し、改憲論議の推進を主張しており、これまでの4野党共闘の枠組みとは正反対の立場をとる政党です。「希望の党」への合流は、4野党間の約束を反故にし、市民連合との合意まで裏切る行為だと言えるでしょう。

山口教授は、小池都知事の知名度以外には中身がない政党で、民進党は「これまで自らを安売りしてきたのは何だったのか」と強く批判しています。

全臨教集会に行ってきました

8月10日、12日、全国臨時教職員問題学習交流集会(通称:全臨教)が京都市で行われました。毎年夏に開催され今年で48回目、全国から約300人の参加がありました。永年臨時教員として働いてきて、正規採用されないまま定年の年齢を迎える、あるいは雇用も打ち切られる、そんな講師の先生が、日本中にたくさんいます。職場で若い先生たちの相談相手やお手本になるような人でも、臨時的任用というだけで、教諭より低い賃金で休暇や福利厚生などで差別的な扱いを受け、賃金面でも不利益を受けている状況など、臨時的任用が引き起こす不合理的な実態が、交流の中で明らかにになりました。

地道な運動の成果が

交流集会では、サークルや教職員組合などで採用選考の学習にとりくんで仲間を輪を広げたことや、次の年度の継続雇用や、休暇や各種条件の改善を実現させたことなど、全国の臨時教職員に希望を与える経験が

「支援学校に通っていた自分子どもがお世話になった

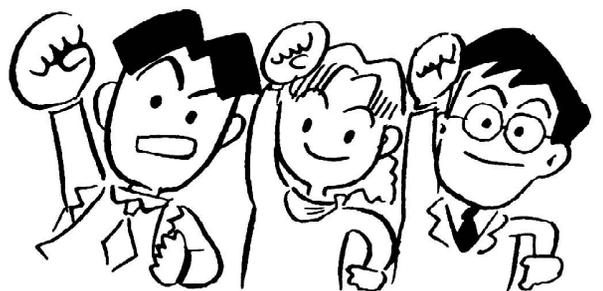
先生が、臨時的任用だと知って、『こんな先生たちが、臨時のままの身分に置かれてるのはおかしい。自分も力になりたい』。そう思って参加している。このように話してくださった保護者もいました。

来年は大阪開催 ぜひ、みなさんも

この集会には、当事者である臨時教職員だけでなく、正規採用の教職員も多く参加しています。また先ほどのような保護者の方や、放課後等デイサービスの職員、教育以外の非正規労働者の方も参加されています。今回もいろいろ立場の人たちが関わっていることを改めて実感できました。

大幅な採用増と、同一労働・同一賃金の実現を

私たち大障教は、多くの方が定数内の期限付講師として働いている大阪の支援学校の現状を、できるだけ早く改善する必要があると考えています。また教員数も抜本的に増員するべきだと考えています。そして、臨時教員の経験が採用選考で正当に評価され、現在講師として働いておられる方を一人でも多く正採用(教諭など)すべきだと考えます。



学校現場では同じ仕事をしているのに、講師と教諭では賃金や休暇などで大きな待遇のちがいがあります。非正規雇用から正規雇用へ、「同一労働・同一賃金」は、今の社会の大きな流れで、政府もその方向性を否定できなくなっています。

7月28日に行われた専門部交渉で府教委は「府教委としては、定数の範囲においては、正規教員の任用が基本と考えている」と説明しました。

これを現実のものにするために、これからも一つずつ歩を進めていこうと思います。臨時教職員の働き方に関して、どのようなことでも、お気軽に声をお寄せください。また、一人でも多くの方の協力が問題を改善する力になります。賛同いただけるみなさんの大障教への加入を、心から呼びかけます。

「原水爆禁止世界大会代表派遣カンパ」 67595円

どうもありがとうございました。大障教から長崎大会に3人、広島大会に6人の代表が参加しました。核兵器禁止条約参加の声を圧倒的な声とし、日本政府の姿勢を変えていきましょう!引き続き「ヒバクシャ国際署名」とりくんでいきましょう。

「九州北部豪雨災害カンパ」 82994円

どうもありがとうございました。皆様のカンパは全教に送らせていただきました。全教を通じて学校や教育関係の支援に役立てられます。

また、この集会は、特に初めて参加した人が大切にされ、交流の中でみんなの思っていることを話しやすく、明るく楽しい気持ちになれる、不思議な魅力のある集会です。来年は8月に大阪で開催されます。ぜひ一緒に参加しましょう。お待ちしております。

分会名：西淀川支援学校分会

分会長：朝田浩司

第7回

障害種別：肢体不自由

児童生徒数：83人

どんな分会? : 少人数でさみしくやっています。中堅とベテランのみの構成です。特に中堅のメンバーは、校務でも中軸で動いており大変多忙です。若手への加入呼びかけが課題ですが、なかなかできないのが悩みです。転勤された諸先輩のスピリットを引き継ぎながら、また、西淀川は大阪労連がとてもしっかりした活動をしている地域でもあるので、地域との交流も行いながら、みんなの持ち味を生かした新しい分会の形ができればなと考えています!